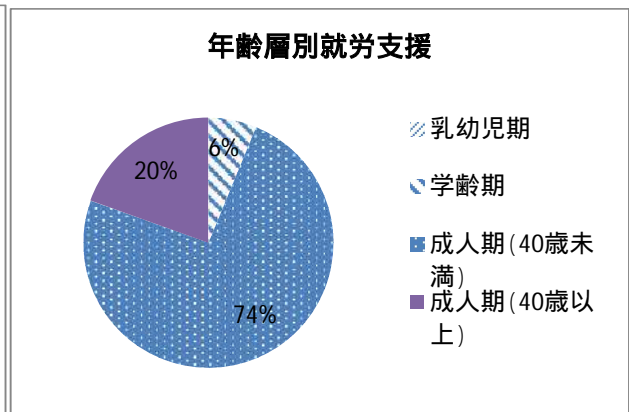
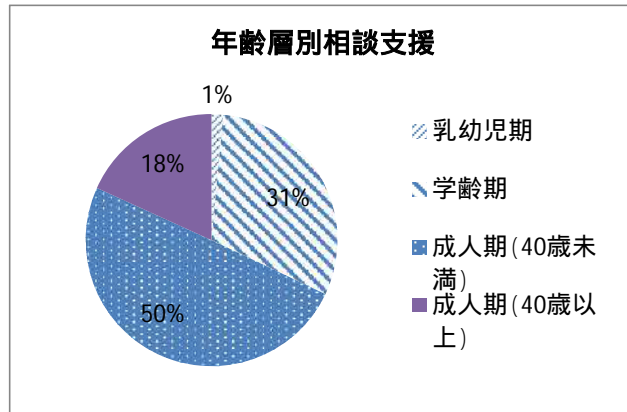
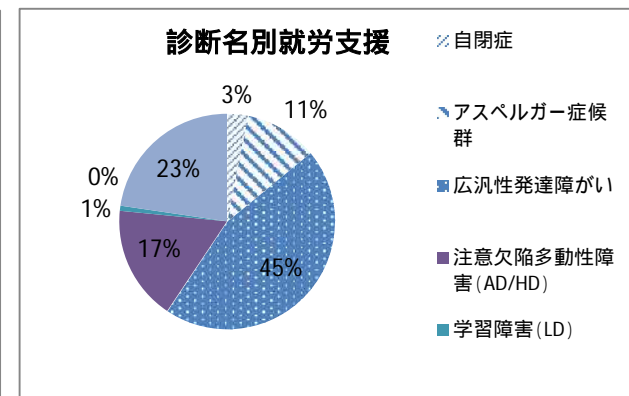
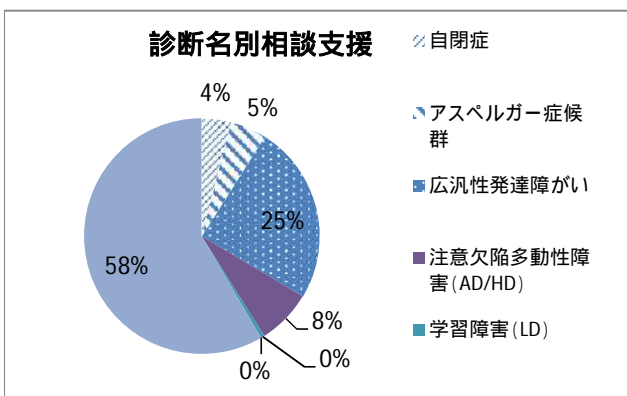


<相談件数(実支援人数)>

| 1-1 年齢別 | 相談・発達 | 就労 | 小計 |
|------------|-------|-----|-----|
| 乳幼児期 | 9 | | 9 |
| 学齢期 | 183 | 8 | 191 |
| 成人期(40歳未満) | 298 | 95 | 393 |
| 成人期(40歳以上) | 109 | 25 | 134 |
| 合計 | 599 | 128 | 727 |



| 1-2 診断別 | 相談・発達 | 就労 | 小計 |
|----------------------|-------|-----|-----|
| 自閉症 | 24 | 4 | 28 |
| アスペルガー症候群 | 30 | 14 | 44 |
| 広汎性発達障がい | 147 | 58 | 205 |
| 注意欠陥多動性障害(AD/HD) | 45 | 22 | 67 |
| 学習障害(LD) | 3 | 1 | 4 |
| その他(発達性言語障害・協調運動障害等) | 0 | 0 | 0 |
| 不明(未診断を含む) | 350 | 29 | 379 |
| 合計 | 599 | 128 | 727 |



2 個別支援：調整会議 (のべ件数)

「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

| 相談・発達 | 就労 | 計 |
|-------|----|-----|
| 111 | 88 | 199 |

3 個別支援：機関コンサルテーション (のべ件数)

「相談・発達・就労支援」に基づく施設への助言、支援者のみの会議

| 相談・発達 | 就労 | 計 |
|-------|----|-----|
| 88 | 18 | 106 |

平成29年度4～12月 発達障がい者支援センター事業実施状況

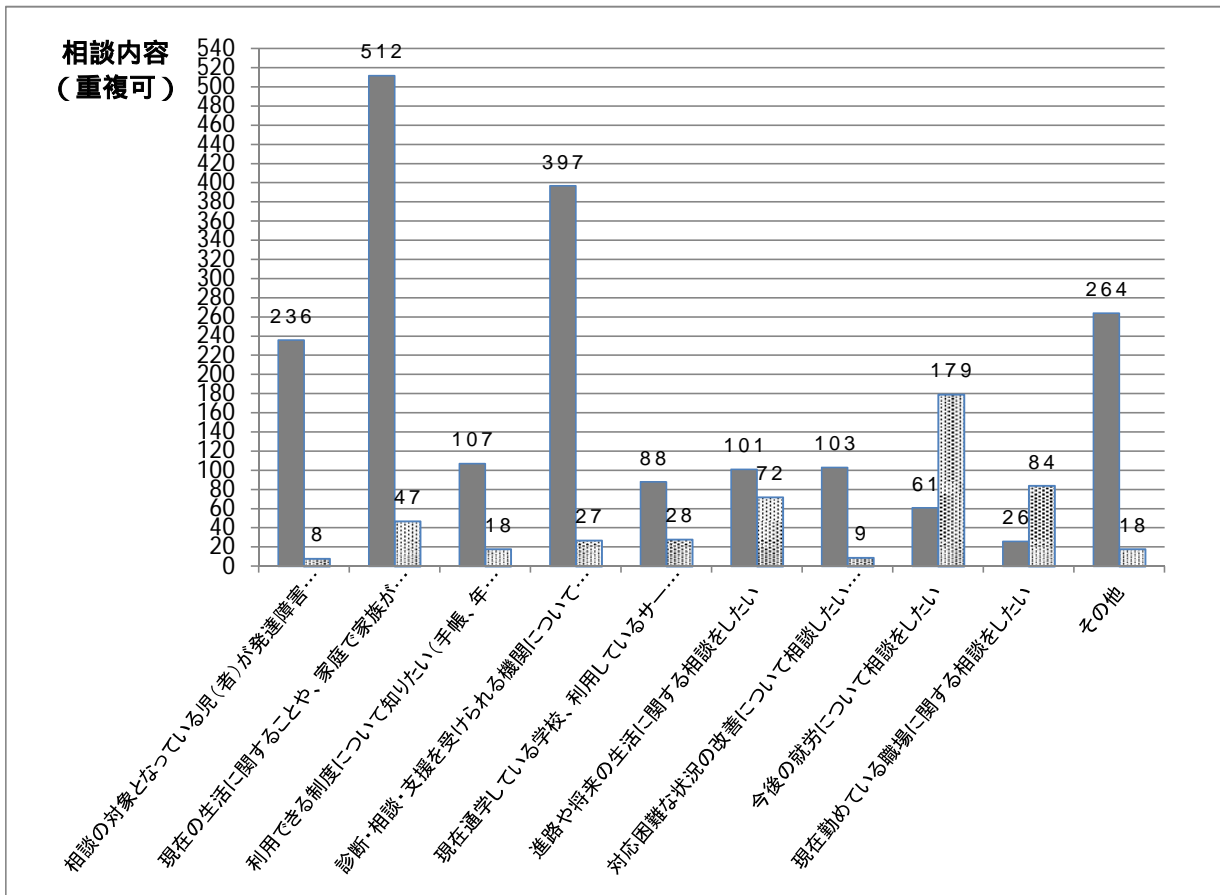
<資料1-1>

4 相談内容（重複選択可）

相談・発達

就労

| | | |
|--------------------------------------|------|-----|
| 相談の対象となっている児（者）が発達障害か知りたい | 236 | 8 |
| 現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい | 512 | 47 |
| 利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど） | 107 | 18 |
| 診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい | 397 | 27 |
| 現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい | 88 | 28 |
| 進路や将来の生活に関する相談をしたい | 101 | 72 |
| 対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障害、ひきこもりなど） | 103 | 9 |
| 今後の就労について相談をしたい | 61 | 179 |
| 現在勤めている職場に関する相談をしたい | 26 | 84 |
| その他 | 264 | 18 |
| 合計 | 1895 | 490 |



5 機関支援

317回実施（平成29年4月～12月）

実訪問所

164か所

6 研修・啓発

参加総数 5322名

実施回数

| | | 実施回数 |
|--------|-------------------------------|------|
| 主催研修会 | PT公開講座・放課後デイ基礎講座、成人期基礎講座、LD講座 | 17 |
| 主催連続講座 | ペアレントトレーニング、ASD、スキルアップ、からだ講座等 | 117 |
| 共催講座 | | 0 |
| 講師派遣 | 区主催PT連続講座（17区）、出前研修、啓発研修等 | 50 |
| 計 | | 184 |

7 発達ノート発行数

| | | |
|------------------------|----|------|
| 平成29年4月～平成29年12月（197冊） | 累計 | 1567 |
|------------------------|----|------|

- ・個別相談...相談は成人期が68%と昨年同様で相談件数も横ばいである。診断が出てからの相談が増えてきている。
- ・調整会議...移行支援事業所等、直接支援機関での訓練目標を一緒に立て、連携することで一層本人に寄り添う支援が可能に。
- ・機関支援...障がい児（保育園・放課後デイ）、者（通所・相談）ともに事例検討や観察助言のニーズが多い。発達障がいの特徴と基本的な支援方法については、基礎講座のレジュメの中に盛り込んでスタッフ間で共有していただいている。
- ・研修・啓発...主催研修・講座を134回実施し、50箇所講師派遣した。複数の司法関係機関から啓発研修の依頼があった。
 「こころとからだのワークショップ」...8名参加。支援者も2名見学参加があった。
 「コグトレワークショップ」...学齢期の支援者向けに認知機能とからだの結びつきを利用する支援手法を紹介した。
 「発達障がいがある大学生就労準備支援事業」...企業見学と就労移行支援事業所1日体験を組み合わせる予定。

「こころとからだのワークショップ」実施報告

【平成 29 年度】

1. 目的

発達障がいがある成人期の方たちが小グループで感情やそのコントロール方法、感情とからだのつながり等についてともに学び、からだを動かすことによるリラックス効果や楽しさを体験する、また、自分の得意・不得意について話し合う機会を設定することにより、就労するために大切な「健康維持」や「感情のコントロール」「自己理解」への気づきと日常での工夫実施のきっかけとすることを目指す。

2. 参加者

平成 29 年度大阪市発達障がい者支援センターに就労を目的に相談来所され、まだ就労支援機関の利用に至っていない、成人期の発達障がいの当事者 8 名（在宅、男性 6 名、女性 2 名、20～30 歳；平均年齢 25.4 歳）。就労移行支援事業所のスタッフ 2 名が見学参加された。

3. 実施頻度・場所

- ・実施頻度 ... 10/24 ~ 2/20 連続 6 回（1～2/M）実施
- ・実施場所 ... 長居障がい者スポーツセンター

4. 方法・内容

- 方法 ... グループワーク（GW）+ からだを動かす体験
- ・GW：ワークシート活用による学習、話し合い
 - ・からだを動かす体験：深呼吸+ストレッチ、軽スポーツ（ポッチャなど）、コグトレ

GW 内容...

- 1 回目 自己紹介、感情学習（よろこび・リラックス）
きっかけカード・楽しいことの本・コーピンググッズの紹介、好きなこと探し
- 2 回目 感情学習（うれしい・リラックスした）（どんな時に・からだの状態）
脳内ホルモンの話、感情修復ツール（きっかけカード：好きなものの写真など）の作成・紹介
- 3 回目 うれしいこと日記、感情学習（不安・怒り）（どんな時・からだの状態）
感情修復ツールの作成・紹介
- 4 回目 うれしいこと日記、きっかけカードを使ってみた感想、不安を減らすのに役立つ活動、
感情修復ツールの作成・紹介
- 5 回目 うれしいこと日記、感情修復ツールを使ってみた感想、
感情修復ツール（ツールボックス）の作成、からだを動かす体験
- 6 回目 うれしいこと日記、感情修復ツール（ツールボックス）を使ってみた感想、
マイナス プラス変換ワーク

5. 支援者向け公開講座「認知機能強化トレーニング コグトレ体験研修会」の実施

< 資料 1-2 【別紙】 > 参照

6. 効果検証

アンケート結果（毎回参加者全員に実施）など

参加者全員、GW とからだを動かす体験の役立ち度・理解度の評価は、4 段階評価で 3（役に立った・わかりやすかった）または 4（とても役に立った・とてもわかりやすかった）であり、からだを動かす体験の評価は両者ともに高かった。

参加者の感想（抜粋）・経過

- ・からだを動かして楽しかった ・ポッチャがすごく楽しかった ・リラックス方法がよくわかった
- ・他の人の感じ方やリラックス方法をきいて役に立った。

7. 今後の課題

- ・GW の普及～実施希望がある支援者の参加・研修の実施

【平成 30 年度（予定）】

29 年度と同様の手法により実施すると共に、GW の普及をめざし支援者の参加や研修の場の設定を引き続き行う。

平成29年度「コグトレ体験研修会」実施報告

1. 目的

発達障がいがある方は、認知の歪みから来る社会性や不器用などの問題を抱えている事が多い。コグトレは、みる・きく・想像するための認知機能を強化し、不器用さや社会への適応力を上げる為に開発されたトレーニング方法で、既に少年院や特別支援学級の子ども達への指導で効果を上げている。今回は、発達障がいの方の支援等に携わっておられる小・中学校の特別支援教育コーディネーターの先生方や、事業所の職員向けに、新しい支援方法として、コグトレを体験していただき、今後の支援に役立てていただくことをめざした。

2. 参加者

今回は、大阪府教育委員会事務局インクルーシブ教育推進室を通じ、小・中学校の特別支援教育コーディネーターに周知し、エルムおおさかと密に連携している発達障がいのある方の支援に携る事業所の職員に案内をした。参加の内訳は、教育関係者43名、行政職3名、事業所職員9名、当センター関係職員9名、講師2名の総合計66名

3. 実施日・場所

・実施日 ... 平成30年1月7日(日) ・実施場所 ... プリーゼプラザ 小ホール

4. 方法・内容

午前中に当センター関係職員・事業所職員向けに、アウトラインの説明と身体の動かし方について指導を受け、午後からは、参加者全員に対する「認知機能強化トレーニング」についての概論、その後、5人一組のグループに分かれて認知作業トレーニングの体験を行った。
(認知作業トレーニングの体験の際には、午前中に指導を受けた当センター関係職員等がコリダーとなって、それぞれのグループの進行に携わった。)

5. 効果検証

アンケート結果

講演内容について、理解度・満足度ともに92%の方が分かりやすかった、大変参考になったと回答されており、残りの方も分かりやすかった、参考になったと回答、いずれも好評だった事が窺える結果が出ている。

参加者の感想・意見

- ・自分が求めていたものがコレだと実感し、書籍を購入して実践していきたいと思う
- ・支援学級でコグトレをやっている。落ち着いてきたり、黒板がずいぶん写せるようになった。
- ・実践をふまえた内容で楽しく受講出来た。今後の療育に活かしていきたいと思う。

今後の学校園・事業所等での手法導入について

本格的に実践するには更なる講習参加が必要であるが、支援の幅を広げていただく為の情報提供としては、今回のような体験研修会は、一定の効果があったものとする。

6. 今後の課題

コグトレ体験研修会で学んだ「相手の感情を理解するベースになる模倣課題」や「2つのうち1つの動作を制御するトレーニング」などを、ワークショップのからだを動かす体験の中に取り入れ、参加した当事者の方には楽しみながら体験いただく事ができた。今後も当事者参加型の活動の中にコグトレのエッセンスを取り入れ、各々の認知の力を引き上げる一助としたい。今回の研修会を受けた移行支援事業所や訓練校とも、今後も引き続き連携しながら実践していけたらと考えている。

発達障がいがある学生等の就労準備支援事業 実施予定

【平成 29 年度】

1. 目的

大学や専門学校を卒業後、社会との繋がりが持てないまま無業状態に陥り相談来所する成人期の方の中には、アルバイトなどの就業経験がなく、卒業後の進路としての就業のイメージが持てず就職活動がうまくいかなかった事例が多い。学生支援室や進路指導担当部との連携のもと、発達障がいがある学生が在学中に発達障がいの特性をふまえた講座や企業での実習体験を含む就労準備支援プログラムに参加することにより、就業イメージを持つこと、就労意欲を向上させること、各自に合った職業の選択を考えるきっかけとすることとし、困った時の対応や工夫を知り就労に向けた課題整理をおこなうきっかけとなることをめざす。また、学生支援者が発達障がいへの正しい理解と適切な対応への工夫を知り、障がい特性に配慮しながら進路指導等をおこなうための一助となるよう、また、結果として卒業後の無業状態を回避することを目指す。

2. 対象者

連携する大学等に在学中の発達障がいがある学生、学生支援者

3. 実施期間・場所

- ・実施期間... 2月～3月（企業見学・就労支援事業所 1日体験）
- ・実施場所... 連携就労移行支援事業所（サテライトオフィス平野）、協力企業（企業見学）

4. 事業内容・

< 発達障がいがある学生等 >

ガイダンス（個別）

「企業見学」 2 / 14 株式会社 ダイキンサンライズ摂津 企業見学

「1日体験」 3月 サテライトオフィス平野 1日体験

ふりかえり：「就労に向けた課題整理」 個別に実施

< 学生支援者等 >

- ・連携先大学教職員～ 社会資源（就労支援・相談機関等）や研修・講演会の情報提供
個別ケース（学生）の紹介・連携

5. 参加予定学生

- ・連携大学から紹介された、在学中の大学生
- ・当センターに個別相談に来られた大学生（休学中、新卒を含む）

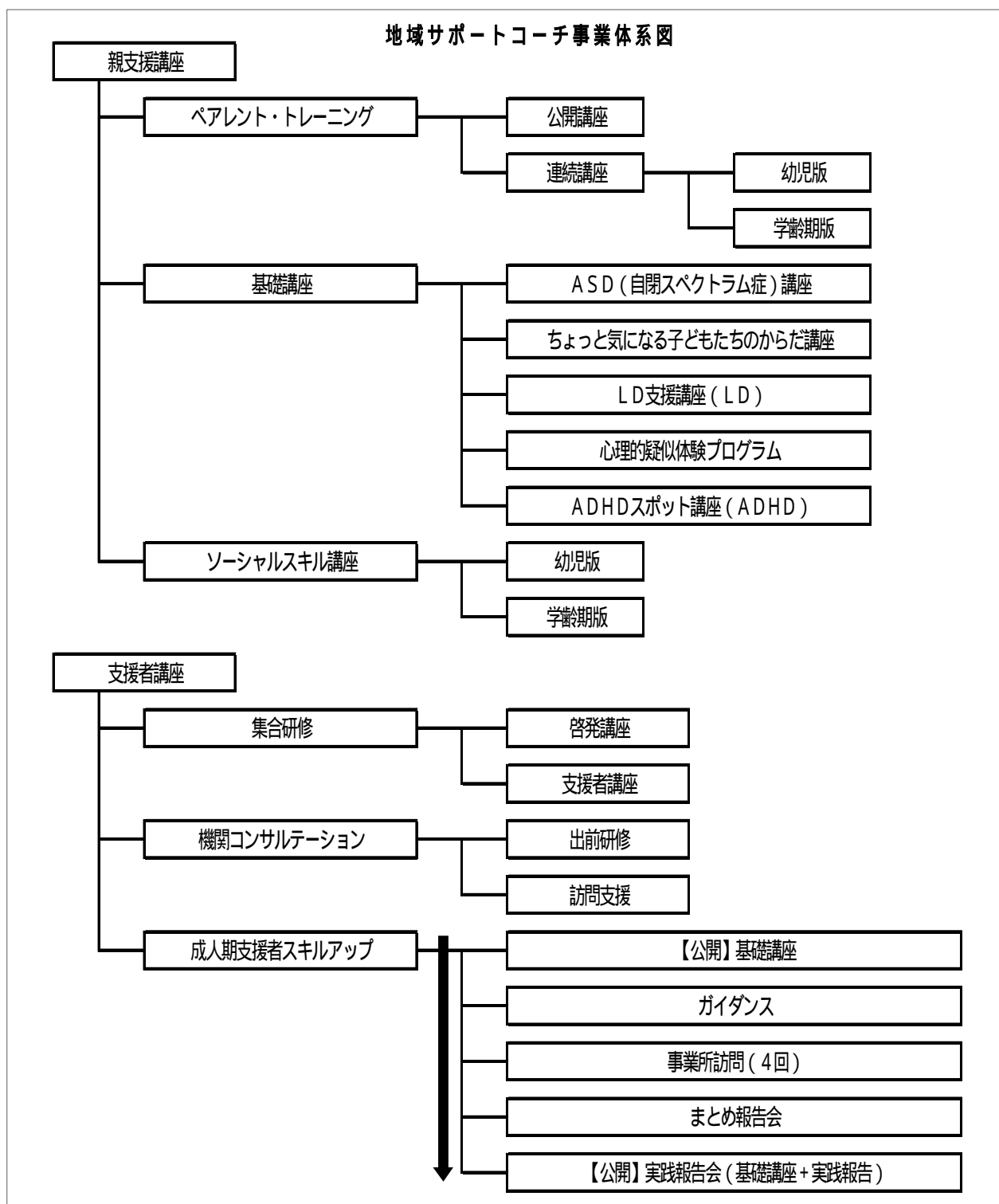
【平成 30 年度予定】

平成 30 年度についても、「企業見学」「体験実習」や「就職について語る会」を中心に、発達障がいがある大学生の方たちが在学中に自分の就職についての方向性を見出す機会を設定・実施していく。

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化 （平成29年4月～平成29年12月）

事業概要

地域サポートコーチを配置し、地域の関係機関・事業所等への啓発・研修・支援、ペアレント・トレーニング等の親支援を実施。



【 取 組 状 況 】

親 支 援 講 座

【1】ペアレント・トレーニング

こどもとのより良い関係をめざし、適切な対応を学び、話し合い、練習する。

(1) ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

定員：50名

実施済み（1回）

| 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|------|--------------|------|-----|-----|
| | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 4/18 | 福島区民センター | 37 | 15 | 52 |
| 7/25 | 大阪市社会福祉センター | 35 | 14 | 49 |
| 12/5 | 都島区役所（都島区共催） | 46 | 18 | 64 |
| 計 | | 118 | 47 | 165 |

公開講座アンケート結果（回収率93%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった | 111 |
| わかりやすかった | 41 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 3 |
| 計 | 155 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変参考になった | 116 |
| 参考になった | 35 |
| あまり参考にならなかった | 1 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 3 |
| 計 | 155 |

【感想・意見】

- ・すごくわかりやすく、心に響きました。これから少しずつ自分の行動も変えていきたいと思いました。
- ・子どもが最近ADHDの診断を受け、親はどの様に接していけば良いか悩んでいました。「育てにくいな」と思った事もあります。子どもより親が変わらなきゃいけないと考え方を改めました。
- ・子どもの事に関しても、親の気持ちに関しても、全てに寄り添ってお話をしてくださり、うなずくことがたくさんありました。目の前にいる子どもを再度しっかりと見ていきたいと思えます。

(2) ペアレント・トレーニング連続講座

こどもの行動を観察して発達障がいの特性を理解し、適切な対応方法を身につけ、こどもの適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

対象：幼児期・学齢期の保護者

定員：8名

実施中・実施予定（幼児：6回×6クール、学齢：9回×6クール 計90回）

| 対象 | 期間 | 会場 | 参加者数 （保護者） |
|----|---------------|---------------|---------------|
| 幼児 | 5/10～7/19 | 西区民センター | 3 |
| | 5/20～7/22 | ドーンセンター | 6 |
| | 9/15～11/24 | 港区民センター | 7 |
| | 9/20～11/29 | クレオ大阪子育て館（共催） | 8 |
| | 1/10～3/14 | 福島区民センター | 実施予定 |
| | 1/18～3/29 | 西成区民センター | 実施予定 |
| | 5/11～9/28（低） | 中央区民センター | 8 |
| | 5/16～10/17（高） | 早川福祉会館 | 7 |

| | | | |
|-----|----------------|-----------|---|
| 学 齡 | 9/8～1/26 (低) | 住吉区民センター | 5 |
| | 10/19～2/22 (高) | 弁天町ORC200 | 4 |
| | 10/25～2/28 (低) | 東成区民センター | 8 |
| | 10/10～2/27 (思) | 天王寺区民センター | 7 |

低...低学年 高...高学年 思...思春期(中学生～18歳以下)

(3) ペアレント・トレーニング フォローアップ講座

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間が経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。(平成28年度も含む実施済の講座のフォローアップ)

実施済(6回)

| 対象 | 日程 | 参加者数 |
|-----|-------|------|
| | | 保護者 |
| 幼児 | 5/30 | 3 |
| | 6/14 | 3 |
| | 10/11 | 2 |
| | 11/11 | 4 |
| 学 齡 | 4/20 | 4 |
| | 5/9 | 8 |
| 計 | | 24 |

現時点での実施予定(4回)

| 対象 | 日程 |
|-----|------|
| 幼児 | 2/16 |
| | 2/21 |
| 学 齡 | 1/18 |
| | 2/6 |

(4) ペアレント・トレーニング《区役所版》

実施中・実施予定(幼児:(5回+フォローアップ1回)×17区、計102回予定)

| 実施区 | 期 間 | | 対象 | 参加者数 |
|------|------------|-------------|----|------|
| | [連続講座] | [フォロ-アップ] | | |
| 此花区 | 5/8～7/3 | 9/4 | 幼児 | 9 |
| 阿倍野区 | 5/10～7/5 | 9/6 | | 10 |
| 福島区 | 5/11～7/6 | 9/7 | | 9 |
| 西区 | 5/15～7/10 | 9/11 | | 9 |
| 北区 | 5/17～7/12 | 9/13 | | 10 |
| 港区 | 5/18～7/13 | 9/14 | | 8 |
| 淀川区 | 5/19～7/14 | 9/15 | | 6 |
| 西淀川区 | 9/25～11/27 | 2/5 | | 9 |
| 鶴見区 | 9/26～11/21 | 2/6 | | 10 |
| 住吉区 | 9/27～11/29 | 2/7 | | 9 |
| 西成区 | 9/28～11/30 | 2/8 | | 10 |
| 東淀川区 | 9/29～12/1 | 2/9 | | 12 |
| 旭区 | 10/2～12/4 | 2/19 | | 6 |
| 東成区 | 10/3～11/28 | 2/20 | | 10 |
| 生野区 | 10/4～12/6 | 2/21 | | 6 |
| 大正区 | 10/5～12/7 | 2/22 | | 11 |
| 天王寺区 | 10/6～12/8 | 2/23 | | 11 |

【2】基礎講座

(1) ASD (自閉スペクトラム症) 講座

お子さんの理解と支援をテーマに、ASDの子どもたちの物事の捉え方や親子で暮らしやすい見える化(環境調整)の例についてお話しします。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

定員：各回40名

実施済み(2回×1クール)

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|-------------|------|-----------|------|-----|----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| わかりやすい環境づくり | 5/26 | 天王寺区民センター | 26 | 15 | 41 |
| 気になる行動の考え方 | 6/2 | | 26 | 13 | 39 |
| 計 | | | 52 | 28 | 80 |

ASD講座アンケート結果(回収率98%)

| 講演内容について(理解度) | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 53 |
| わかりやすかった | 24 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 79 |

| 講演内容について(役立度) | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 48 |
| 参考になった | 29 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 79 |

【感想・意見】

- ・具体的な例を出されてお話ししてくださって、とてもわかりやすかったです。
- ・子どもの将来を考えて、辛い気持ちになる事が多かったのですが、具体的にすべきことがわかって、少し楽になりました。
- ・お話しだけでなく、実際に取り入れられる事例を用いて説明してくださったので、とてもわかりやすかったです。我が子にも取り入れられそうなものがあったので、早速取り入れてみたいと思います。

実施予定(2回×1クール)

| 内容 | 日程 | 会場 |
|-------------|------|---------|
| わかりやすい環境づくり | 1/30 | 大阪産業創造館 |
| 気になる行動の考え方 | 2/6 | |

新講座

(2) ちょっと気になる子どもたちのからだ講座

乳幼児期に獲得される感覚-運動能力の視点から、身体の使い方が不器用で、集団生活が苦手な子どもたちの特徴と支援についてお話しします。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

定員：各回40名

実施済み(2回×2クール 計4回)

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|---------------|-------|-------------|------|-----|-----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 感覚と運動発達の視点から | 6/13 | 総合生涯学習センター | 17 | 18 | 35 |
| 身体と手先の動きを育てよう | 7/11 | | 15 | 17 | 32 |
| 感覚と運動発達の視点から | 11/13 | 阿倍野市民学習センター | 17 | 19 | 36 |
| 身体と手先の動きを育てよう | 12/12 | | 16 | 17 | 33 |
| 計 | | | 65 | 71 | 136 |

からだ講座アンケート結果（回収率95%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった | 84 |
| わかりやすかった | 41 |
| 難しかった | 3 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 130 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変参考になった | 92 |
| 参考になった | 38 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 130 |

【感想・意見】

・今まで何となく知っている位の事が理解でき、家庭でも少しずつでも取り入れていこうと気になりました。

・少し難しかったですが、基本は乳児の頃、今日は帰ってから子どもの手の動きを見てみたいと思います。今まで、気にして見ていなかったのが、上手にできているのか、きちんと見てみようと思いました。ありがとうございました。

・乳児期からの「体の発達」がわかりました。また、成人してからでも、訓練によって体の能力を獲得できると知り、希望が持てました。

（3）ことばの指導・読み書き・計算・聞く話す（LD）

学習のつまずきや宿題への対応など、幼児期学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、お話しします。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

定員：各回50名

実施済み（4回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|--|------|------------------|------|-----|-----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 基礎的な読み書きの力を育てる ～低学年編～ | 5/22 | 大阪市中央公会堂 | 19 | 18 | 37 |
| 新講座 読み書きの力を育てる ～高学年での課題と 学習支援～ | 6/12 | 大阪市立 社会福祉センター | 18 | 16 | 34 |
| 算数でつまずく子どもの 理解と指導へのヒント | 6/26 | 阿倍野市民学習センター | 28 | 12 | 40 |
| 豊かなことばを育むために | 7/10 | 大阪産業創造館 | 25 | 23 | 48 |
| 計 | | | 90 | 69 | 159 |

読み書き・計算・ことば（LD）アンケート結果（回収率98%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった | 114 |
| わかりやすかった | 38 |
| 難しかった | 2 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 3 |
| 計 | 157 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変参考になった | 113 |
| 参考になった | 42 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 157 |

【感想・意見】

- ・まさに今知りたいと思っていた事ばかりで、大変参考になりました。子どもは今の時点で十分がんばっているんだと、という視点を持って、気持ちを新たに接する事ができそうです。
- ・とてもわかりやすく、ためになるお話でした。ただ読めればいいのではなく、意味がわかる事、自分がこうしたいという自分の考えをもつ事、そしてそれを伝える事、喜びを理解させること、大切だとわかりました。
- ・生活、遊びの中でも算数がたくさん入ってて、知らないうちに勉強になっているんだなぁと確認できました。わからない、つまずいたところを理解し見落とさないように子どもと接して、これからは役立てればと思いました。遊びながら楽しく算数に取り組める工夫をしていきたいです。

実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|--------------------|------|----------|
| 聞く力・話す力の理解と指導へのヒント | 1/22 | 福島区民センター |

新講座

（４）心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を抱えながら通常学級で学習する時の子どもの気持ちを体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていきます。

対象：小学生の保護者

定員：各回30名

実施済み（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|--|------|---------|------|
| 『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう | 9/11 | 大阪産業創造館 | 22 |

疑似体験アンケート結果（回収率100％）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 20 |
| わかりやすかった | 2 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 22 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 18 |
| 参考になった | 4 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 22 |

【感想・意見】

- ・子どもたちは毎日、何時間もこのような思いをしているのだなぁと思いました。できるだけ大人が配慮し、環境を整えてあげる事の大切さを実感しました。
- ・教室でどのような音の聞こえ方をしているのか実際映像で見れて、子どもの状況がわかった。
- ・普段、何も考えずにしている事を、少し違う方法になる事で、すごく頭を使った。これが毎日、毎時間続いているとなるとしんどいなと感じました。

実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|--|------|-----------|
| 『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう | 2/26 | 弁天町ORC200 |

（5）ADHDスポット講座（ADHD）

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時に持っている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義をうけ、学習する。

対象：当事者・保護者・支援者

定員：100名

実施済み（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|----------------|------|--------|------|-----|-----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| ADHDのある方の特徴と支援 | 10/1 | 大阪私学会館 | 43 | 69 | 112 |

ADHDスポット講座アンケート結果（回収率97%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった | 62 |
| わかりやすかった | 38 |
| 難しかった | 4 |
| かなり難しかった | 1 |
| 無回答 | 4 |
| 計 | 109 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変参考になった | 68 |
| 参考になった | 34 |
| あまり参考にならなかった | 3 |
| 全く参考にならなかった | 1 |
| 無回答 | 3 |
| 計 | 109 |

【感想・意見】

- ・自分の子しか知らないので、臨床の事例が大変参考になります。頑張る事より楽しみ子育てに視点を置いてみます。
- ・事例や動画などわかりやすかったです。これからもADHDや他の疾患への理解を深めていきたいと思いました。
- ・日々の支援を見直す機会になりました。”こちらがイラッとした時がPOINT”というところは、ハッとさせられました。”これくらいできるはず”と考える前に、一度立ち止まって考えたいと思いました。

【3】ソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばいいのか、家庭での取り組み方法をお話します。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

定員：各回20名

実施済み（幼児期3回×1クール 学齢期3回×1クール 計6回）

| 区分 | 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|----------|-----------------------------|---------------|------------|------|-----|-----|
| | | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 幼児期 | 幼児期で身につけたいソーシャルスキルについて | 10/16・23・30 | 弁天町ORC200 | 45 | 27 | 72 |
| 学齢期（低学年） | 小学校（低学年）で身につけたいソーシャルスキルについて | 11/20・27・12/4 | 難波市民学習センター | 59 | 19 | 78 |
| 計 | | | | 104 | 46 | 150 |

ソーシャルスキル講座アンケート結果（回収率96％）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった | 120 |
| わかりやすかった | 21 |
| 難しかった | 1 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 3 |
| 計 | 145 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変参考になった | 125 |
| 参考になった | 19 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 145 |

【感想・意見】

- ・家で親が何をすべきかが具体的に良くわかりました。また、教材や親の会、NHKなどのすぐに使える情報を教えていただく事は、とても役に立ち、助かります。
- ・3回連続の講座だったため、スポットでの講座に比べて内容を深く掘り下げて理解する事ができ、とてもよかった。先生の説明が実体験をもとにしていたのでわかりやすかった。
- ・具体的な遊びの例をたくさん教えていただき、とても勉強になりました。意識せず遊んでいましたが、これからは自分も楽しんで（表現して）遊んでいこうと思いました。

支援者講座

【1】集合研修

（1）啓発講座

区の自立支援協議会や連絡会、発達障がいサポーターなどの講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

実施済み（ 29回 ）

| 対象 | 内容 | 会場 | 日程 | 参加者数 | | |
|-------------|------------------------|------|-------|-------|------|----|
| 市職員（市役所関係） | 福祉局職員研修 | 市役所 | 7/7 | 39 | | |
| | | | 7/11 | 24 | | |
| | | | 7/13 | 35 | | |
| | | | 7/20 | 39 | | |
| | 市職員人権問題研修（管理者層） | 阿倍野区 | 11/16 | 316 | | |
| | | | 11/27 | 343 | | |
| 市職員（区役所） | 福祉局虐待担当職員研修 | 市役所 | 11/28 | 58 | | |
| | 発達障がいサポーター | 住吉区 | 8/18 | 26 | | |
| 当事者・保護者・団体等 | 通所支援事業所連絡会（関係機関職員・保護者） | 住吉区 | 5/8 | 28 | | |
| | 大阪高等裁判所（職員研修） | 北区 | 7/5 | 114 | | |
| | | 北区 | 7/5 | 113 | | |
| | 大阪弁護士会（所属弁護士研修） | 北区 | 7/6 | 23 | | |
| | 平野特別支援学校（教員・保護者） | 平野区 | 7/25 | 42 | | |
| | クレオ大阪子育て館（保護者・支援員） | 北区 | 7/19 | 19 | | |
| | 雇用支援ネットワークジョブコーチ養成講座 | 北区 | 7/24 | 56 | | |
| | 障がい者相談支援センター | 西成区 | 7/28 | 31 | | |
| | 社会福祉法人職員研修 | 住吉区 | 8/23 | 31 | | |
| | 学校歯科医師会（所属歯科医師） | 淀川区 | 9/9 | 18 | | |
| | 自立支援協議会（関係機関職員） | 中央区 | 9/12 | 60 | | |
| | | 東淀川区 | 10/25 | 15 | | |
| | 職業リハビリテーションセンター（利用者） | 平野区 | 10/13 | 5 | | |
| | 区民啓発講座（支援者） | 旭区 | 10/28 | 14 | | |
| | 区民啓発講座（PTA・支援者） | 西区 | 11/20 | 54 | | |
| | 大阪市更生療育センター（保護者研修） | 平野区 | 11/6 | 32 | | |
| | 大阪市男女いきいき財団（家庭支援員研修） | 天王寺区 | 天王寺区 | 11/7 | 15 | |
| | | | | 平野区 | 5/23 | 21 |
| | | | | 住吉区 | 6/15 | 19 |
| | | | | 天王寺区 | 9/19 | 13 |
| 都島区 | | | | 11/26 | 5 | |
| 合 計 | | | | 1608 | | |

アンケート結果（回収率97%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|------|
| 大変わかりやすかった | 848 |
| わかりやすかった | 663 |
| 難しかった | 43 |
| かなり難しかった | 1 |
| 無回答 | 12 |
| 計 | 1567 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|------|
| 大変参考になった | 739 |
| 参考になった | 768 |
| あまり参考にならなかった | 33 |
| 全く参考にならなかった | 2 |
| 無回答 | 25 |
| 計 | 1567 |

【感想・意見】

- ・映像での体験をすることで深く考えることができた。
- ・障がいについて知っているつもりだった部分もきちんと理解できていなかったことが多く、具体的な説明ですごくわかりやすかったです。
- ・毎日注意ばかりしているなど反省です。ほめる事を気にしてみたいと思います。

（2）支援者講座

1．児童発達支援/放課後等デイサービス支援者向け 基礎講座

発達障がい児の支援に必要な基礎知識をお話します。

対象：児童発達支援・放課後等デイサービスの支援者

定員：各回50名

実施済み（2回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|-------------|------|------------|------|
| 発達障がいの理解と支援 | 5/19 | 難波市民学習センター | 107 |
| | 11/2 | 大阪産業創造館 | 34 |
| 計 | | | 141 |

アンケート結果（回収率95%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった | 71 |
| わかりやすかった | 57 |
| 難しかった | |
| かなり難しかった | |
| 無回答 | 6 |
| 計 | 134 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変参考になった | 72 |
| 参考になった | 57 |
| あまり参考にならなかった | 1 |
| 全く参考にならなかった | |
| 無回答 | 4 |
| 計 | 134 |

【感想・意見】

- ・発達障がいについて、実際に体験した話や、どう支援していけば良いのかなどの詳しい勉強ができて、とてもためになりました。
- ・制度や手帳についても説明があってわかりやすかった。また、発達障がいの考え方が文字だと理解しにくい部分も、具体的な事例を話して頂く事によって理解しやすかったです。
- ・子どもたちとの接し方や、スケジュールの進め方、示し方など、工夫していきたい。

新講座

2. 成人支援事業所支援者向け 基礎講座

発達障がい者の支援に必要な基礎知識をお話します。

対象：成人支援事業所の支援者

定員：各回50名

実施済み（2回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|-------------|-------|--------------|------|
| 発達障がいの理解と支援 | 6/16 | 住まい情報センター | 92 |
| | 11/30 | 大阪市立社会福祉センター | 37 |
| 計 | | | 129 |

アンケート結果（回収率99%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった | 69 |
| わかりやすかった | 52 |
| 難しかった | 1 |
| かなり難しかった | |
| 無回答 | 6 |
| 計 | 128 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変参考になった | 68 |
| 参考になった | 57 |
| あまり参考にならなかった | 1 |
| 全く参考にならなかった | |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 128 |

【感想・意見】

- ・体験タイムもあり、実際に自分が体験してみる事ができてよかった。参考になりました。
- ・視覚系の認知の困難、聴覚系の認知の困難の講義を聞いて、支援してる中ですごく当てはまる事があり、改めて認識を得る事ができました。
- ・1つ1つの声掛けにもっと配慮すべきところがたくさんあったのだと再認識しました。リフレーミングするとは、自分自身関わりを楽しくできるコツだと思いました。

3. 支援者向けライフスキル講座

発達障がいのある児童生徒・成人期の方及び家族の支援者を対象に、ライフステージに応じて必要とされる社会性の指導方法についてお話します。

対象：中高生・成人期の支援者

定員：中高生向け 150名 成人向け 100名

実施済み（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|---------------------------|------|----------|------|
| 中高生にソーシャルスキル・ライフスキルを教えるには | 8/21 | 鶴見区民センター | 61 |

中高生ライフスキル講座アンケート結果（回収率98%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 29 |
| わかりやすかった | 29 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 60 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 30 |
| 参考になった | 29 |
| あまり参考にならなかった | 1 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 60 |

【感想・意見】

- ・2時間という短い時間ではありましたが、非常にわかりやすかったです。
- ・大変わかりやすくよかったです。2学期から実際に行っていきたいと思います。
- ・実際に中・高生と関わる業務をしており、人付き合いの難しさ、やりきれなさを語られる場面によく遭遇します。その子に合った方法で、教えていくスタンスを見つけて支援に活かしていきます。

実施予定 (1回)

| 内容 | 日程 | 会場 |
|-----------------------|------|---------|
| 発達障がいのある大人のライフスキルについて | 1/30 | 武藤記念ホール |

新講座

4.ペアレント・プログラム支援者研修

区役所の支援者を対象として、ペアレント・プログラムの概要についてお話しし、日頃の子育て支援に活用できるよう、実践、体験を中心に研修を行います。

対象：区役所の保健師・心理相談員・保育士・家庭児童相談員

定員：各回10名程度

実施予定 (2回)

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|------------------|------|----------------------------|------|
| ペアレント・プログラム支援者研修 | 8/8 | 大阪市立リハビリテーションセンター 第1会議室 | 15 |
| | 8/28 | | 13 |
| 計 | | | 28 |

ペアレント・プログラムアンケート結果 (回収率100%)

| 講演内容について (理解度) | 人数 |
|----------------|----|
| 大変わかりやすかった | 25 |
| わかりやすかった | 3 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 28 |

| 講演内容について (役立度) | 人数 |
|----------------|----|
| 大変参考になった | 27 |
| 参考になった | 1 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 28 |

【感想・意見】

- ・ペアレント・プログラムの概要、グループワーク共にとても参考になりました。相談支援の中で活用していきたいと思います。
- ・ペアプロの内容や、ポイントがわかって良かったです。ロールプレイをすることで、より具体的な気づきや課題がわかりました。
- ・社会全体の育児能力が低下している中で、より一般的なペアレント・トレーニングが必要と感じていたため、今回のペア・プロはその一助となると思いました。

【2】機関コンサルテーション

(1) 出前研修

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

実施済み (52回)

| 対象 | 内容 | 日程 | 参加者数 |
|-------|-----------|------|------|
| 保育所・園 | 発達障がい基礎講座 | 4/15 | 13 |
| | | 5/27 | 8 |
| | | 6/19 | 9 |
| | | 6/30 | 21 |
| | | 7/24 | 8 |
| | | 8/3 | 23 |
| | | 8/9 | 10 |

| | | | |
|---|-----------------|-------|-----|
| | | 8/9 | 16 |
| | | 9/27 | 33 |
| | | 10/24 | 14 |
| | | 10/26 | 28 |
| | | 11/18 | 24 |
| | 事例検討会 | 11/4 | 11 |
| 障がい児支援機関（児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所） | 発達障がい基礎講座 | 4/28 | 7 |
| | | 5/12 | 13 |
| | | 5/26 | 5 |
| | | 5/30 | 4 |
| | | 6/6 | 10 |
| | | 6/20 | 12 |
| | | 6/30 | 6 |
| | | 7/11 | 5 |
| | | 7/13 | 8 |
| | | 8/25 | 46 |
| | | 9/13 | 8 |
| | | 9/22 | 28 |
| | | 10/6 | 20 |
| | | 11/8 | 10 |
| | 11/15 | 9 | |
| | 発達障がいを理解し上手に子育て | 7/7 | 33 |
| | | 7/11 | 12 |
| | SSTについて | 10/6 | 14 |
| | SSTとは？ | 11/10 | 3 |
| 青年・成人期支援機関（就労移行支援・就労継続A・B、生活介護、施設入所支援・GH・CH等） | 発達障がい基礎講座 | 4/20 | 10 |
| | | 4/21 | 10 |
| | | 4/27 | 27 |
| | | 5/15 | 10 |
| | | 5/22 | 9 |
| | | 6/14 | 9 |
| | | 6/24 | 16 |
| | | 6/29 | 5 |
| | | 7/14 | 9 |
| | | 7/26 | 5 |
| | | 7/27 | 7 |
| | | 8/9 | 6 |
| | | 8/10 | 7 |
| | | 9/4 | 9 |
| | | 9/12 | 16 |
| | | 10/12 | 16 |
| | | 10/13 | 12 |
| | | 11/29 | 18 |
| | 個別支援計画の目的と考え方 | 7/12 | 9 |
| | 自傷行為の理解と支援 | 10/27 | 21 |
| 合 計 | | | 702 |

アンケート結果（回収率97%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった | 462 |
| わかりやすかった | 193 |
| 難しかった | 20 |
| かなり難しかった | 1 |
| 無回答 | 5 |
| 計 | 681 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変参考になった | 490 |
| 参考になった | 181 |
| あまり参考にならなかった | 4 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 6 |
| 計 | 681 |

【感想・意見】

- ・発達障がいの種類別に説明して下さったので、ASDやLDのそれぞれの特性を知る事ができました。今後の支援方法についても、スモールステップや、引き算の支援を実践していきたいと思います。
- ・法律や定義など、今まで詳しく知らなかった事を勉強できました。仕事をしていく上で、経験だけでなく知識も大切であると改めて感じる事ができました。
- ・今まで言葉として知っていても、意味までは理解できていなかった障がいや、その症状の一つ一つをしっかりとわかりやすく説明していただき、すごく勉強になりました。

(2) 訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

実施済み (延べ317回・164か所)

| 区分 | 延べ回数 | 実訪問か所数 |
|--------------|------|--------|
| 私立保育園 | 89 | 48 |
| 障がい児通所・入所施設 | 71 | 38 |
| 教育関係機関 | 2 | 2 |
| 成人期支援機関 | 101 | 46 |
| 障がい児・者相談支援機関 | 22 | 9 |
| 居宅介護事業所 | 7 | 2 |
| 社会福祉協議会 | 1 | 1 |
| 区役所(保健福祉含む) | 2 | 2 |
| その他 | 22 | 16 |
| 計 | 317 | 164 |

【3】成人支援講座

(1) 成人期支援者スキルアップ事業

基礎講座

基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所(29年度は5事業所)をモデルに、年4回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス・まとめ報告会を行い、スキルアップを目指す。

公開講座としての基礎講座に加え、の事業所に取組内容を実践報告として発表してもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

成人期支援者スキルアップ事業の流れ

成人支援基礎講座

成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

< 実施事業所の募集と選定 >

ガイダンス

機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

初回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。2回目の訪問の際は、助言内容実施後の変化の状況を共有。必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバックを実施し、最終の確認と今後の方向性の整理を行う。

まとめ報告会

各事業所4回の訪問コンサルテーションを終え、事業所内での取り組み内容や、コンサルテーション実施後の変化について報告。まや、実践報告会(2/24予定)での発表に向けて、更に取り組む内容や、これまで実施した取り組み内容についても整理し、支援の方向性について確認する。

実践報告会：基礎研修 + 実践報告

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、次年度の希望施設を募る。

(2) 成人期支援者スキルアップ事業の実施状況

基礎講座

実施済み(1回)

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|----------------|-----|---------|------|-----------|----|
| | | | 支援者 | 本人 家族等 | 計 |
| 自閉症/発達障害の特性と支援 | 6/4 | シキボウホール | 78 | 9 | 87 |

アンケート結果 (回収率88%)

| 講演内容について(理解度) | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 36 |
| わかりやすかった | 38 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 3 |
| 計 | 77 |

| 講演内容について(役立度) | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 37 |
| 参考になった | 34 |
| あまり参考にならなかった | 2 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 4 |
| 計 | 77 |

【感想・意見】

- ・ 構造化のポイントや事例についてわかりやすくご説明いただけ、とても勉強になりました。
- ・ 自閉症の方の支援する中で、納得できることがあり、理解できました。
- ・ 構造化の効果を改めて勉強でき、1つでも取り組んでみようという気持ちになりました。

ガイダンス

実施済み(1回)

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|---------------|------|------------------------|------|
| コンサルテーションの意義等 | 6/28 | リハビリテーションセンター 第1会議室 | 6 |

まとめ報告会

実施予定(1回)

| 内容 | 日程 | 会場 |
|---------------------|------|------------------------|
| 取組内容の整理 支援の方向性など | 1/31 | リハビリテーションセンター 第1会議室 |

【スキルアップの実施状況】

| 事業所 | 施設種別 | 対象者の概要・課題点 |
|-----|--|--|
| ① | 施設入・通所・短期入所 就労継続B・地域支援活動 相談支援が併設された 複合型支援施設 | 57歳男性、未診断(自閉傾向) 療育手帳A 他害行動 感情のコントロール |
| ② | 就労継続支援B | 18歳女性、高機能広汎性発達障がい 精神2級 突発的なパニックに対するアプローチ |
| ③ | 生活介護 | 34歳男性、自閉症 療育手帳A 本人の意欲がない |
| ④ | 就労継続支援B | 28歳男性、ADHD 療育手帳A 作業が継続してできない 適切なコミュニケーションの取り方がわからない |
| ⑤ | 入所・短期入所・生活介護 共同生活援助・相談支援 | 22歳男性、自閉症 療育手帳A こだわりが多く次の行動に移れない。 |

実践報告会（基礎講座 + 実践報告）

基礎講座は、自閉症の問題行動に視点を当て、冰山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施予定。

実践報告会は、5事業所より4回のコンサル訪問の経過ならびに、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加事業所より報告する。担当コンサルタントより講評や助言をもらい、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性や支援手法について提言してもらう予定。

実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|------------------|------|---------|
| 自閉スペクトラム症のある人の支援 | 2/24 | シキボウホール |